

**製品名: UTRO ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19695**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:50-1:300, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	377kDa

**抗原情報**

遺伝子名	UTRN
別名	DMDL DRP1
遺伝子 ID	7402.0
SwissProt ID	P46939
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

**背景**

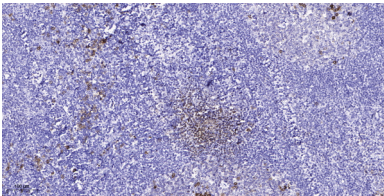
この遺伝子は、ジストロフィン遺伝子と構造的にも機能的にも類似しています。アクチン結合 N 末端、三重コイルドコイルリピート中央領域、そしてジストログリカンタンパク質成分と相互作用するタンパク質間相互作用モチーフからなる C 末端を有しています。

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、神経筋シナプスおよび筋腱接合部に位置し、シナプス後膜の維持とアセチルコリン受容体のクラスター形成に関与しています。マウスを用いた研究では、この遺伝子がジストロフィン遺伝子の機能的代替物として機能する可能性が示唆されており、ジストロフィン遺伝子の変異によって引き起こされる筋ジストロフィーの代替治療薬として有望です。ユートロフィン遺伝子の選択的スプライシングは報告されていますが、これらの変異体の全長はまだ解明されていません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 細胞骨格を細胞膜に固定する役割を果たす可能性がある。 ,オンライン情報: ユートロフィンエントリー,類似性: WW ドメインを 1 つ含む。 ,類似性: ZZ 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。 ,類似性: CH (カルボニン相同性) ドメインを 2 つ含む。 ,類似性: スペクトリンリピートを 20 個含む。 ,細胞内局在: 神経筋接合部,サブユニット: シントロフィン SNTA1、SNTB1、SNTB2 と相互作用する。SYNM と相互作用する。 ,組織特異性: 筋肉,

## 研究分野

-

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°C で一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。